

公表

## 事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	多機能型児童療育支援事業所 なないろ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○訪問先施設評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年3月7日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6ヶ所	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げている。	・保護者へ公開する記録を打つだけでなく、支援計画が達成されているかも評価した記録も残している。	・他事業所も併用している場合に情報共有を密に行うようにしていく。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問回数や時間の制限があるため、保護者や訪問先の希望に応えられない場合がある。	・保護者が求めている保育所等での情報や、確認してほしいことが、訪問時に得られない場合がある。	・支援内容や訪問スケジュールを調整して、できる限り保護者や保育所等のニーズに添える体制づくりをしていきたい。
2			
3			

# 保護者等向け 保育所等訪問支援評価表

公表日：令和7年3月12日

事業所名：多機能型児童療育支援事業所なないろ

対象人数（保護者）9人 回答者数 6人 回収 66.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3			3		
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	1		1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6				・訪問日が決まったら必ず連絡をしてくれる。	
	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	6					
適切な 支援の 提供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	5	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	6					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	6					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	6					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	6					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	6				・十分すぎるぐらい配慮をしてくれていると担任の先生から聞いている。	
	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	1				
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					

保護者への説明等

14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	6					
15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができていますか。	6					
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				・その都度、相談に応じてくれる。	
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	1				
18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6					
21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6				・話し合いがあったら記録に書いてくれている。	
22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5	1			・毎回記録して詳しく共有してくれています。	
23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6					
24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	1				
非常時	25 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	6					

等 の 対 応	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	6				
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	4	2		・こどもは、あまり良く思っていないが、そのことも踏まえて訪問を希望しています。職員さんにもそのことを伝えて、本人の気持ちに寄り添った対応をしてくれています。	・本人の考えも尊重しながら、保護者様の希望も叶えられるよう努めています。
満 足 度	28	事業所の支援に満足していますか。	6			・毎回新たな可能性が見えて満足している。	

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年3月12日

多機能型児童療育支援事業所  
なないろ

利用児童数

9名 回収数5ヶ所

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	6			・家庭やデイでの様子を知る橋渡し役になっていただいて、児童のできることや取り組みを知り、広げるきっかけになった。	・今後も家庭、デイ、学校での課題を考えながら各所での支援を考察していきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6				
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	6				
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	2		・デイサービスと学校では課題が違ふ事がある。	・過ごす場所によって課題となること異なる場合があるので、情報共有をしながら手立てを考えていきます。
5	事業所からの支援に満足していますか。	6				
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者がとても信頼を寄せていると感じている。</li> <li>・児童の成長に向けて課題を共有でき、学校への協力姿勢もありよかったです。</li> <li>・訪問された際には、近況の情報共有をしてくださりありがとうございました。</li> <li>・校外学習にも同行してくださり、お世話になりました。今後ともよろしくお願いいたします。</li> <li>・児童の様子をお話させていただく中で、改めて過ごし方や本人の可能性について考えることができました。ありがとうございました。</li> <li>・いつも子どもを温かく見守って頂けてうれしいです。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も一人ひとりの可能性を意見交換していき、将来の自立に繋がるような支援方法を考えていきます。</li> </ul>	

公表

## 事業所における自己評価結果（保育所等訪問支援）

事業所名		多機能型児童療育支援事業所 なないろ		公表日	令和7年3月12日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的には教材は持参していないが必要時には使用できる準備はある。</li> <li>最小限かつ適切と感じる。</li> <li>持参はしておらずできるだけ訪問先の状況に合わせ使用している教材等で対応している。</li> </ul>	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>同じ学校の児童は時間調整などを行ない単一での訪問を行なっている。</li> <li>適切である。</li> <li>適切な配置と感じる。</li> <li>可能な限りの職員数を配置し常に単一で訪問できるように調整している。</li> </ul>	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員が参画している。</li> <li>職員間で情報共有出来ている。</li> <li>訪問担当でない職員も参加できるツールを使用し全職員共通理解の下目標設定と振り返りが行われている。</li> </ul>	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>年1回評価表に協力いただいている。</li> <li>保護者の意向を大事にするように心がけている。</li> <li>保育所等訪問支援の保護者向け評価表は今年度からの取り組みなので、今後業務改善につなげていく。</li> </ul>	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも意見を出し合えるツールを使用しその都度業務改善を行っている。</li> <li>訪問担当でない職員も参加できるツールを使用し全職員共通理解の下業務改善につなげている。</li> </ul>	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在第三者評価はおこなっていない。今後必要性の検討は必要。</li> </ul>
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部内部とも年に数回研修参加をしている。</li> <li>研修を受講するだけでなく、資質向上のために資格を自由に取得する機会も設けられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育所等訪問支援の研修があれば参加したい。</li> </ul>
	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の要望を聞き訪問の仕方を検討するなど職員絵検討しながら可能な対応は行っている。</li> <li>訪問員から見たこどものニーズや課題だけでなく保護者の意向も汲んだ支援計画を作っている。</li> <li>保育所等訪問支援に特化した研修の開催がなく参加できていないが日頃から支援に関わるものが他研修には積極的に参加している。</li> <li>保護者のニーズに沿いながら訪問先とも情報共有し計画作成するよう努めている。</li> </ul>	

適切な支援の提供

9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各職員の意見も聞きながら作成し共通理解を持ち支援している。</li> <li>・保護者のニーズに沿いながら訪問先とも情報共有し全職員の意見も考慮し計画作成するよう努めている。</li> </ul>	
10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先の意見も可能な限り取り入れ作成するよう努めている。</li> <li>・学習の理解度や生活課題を聞き、支援内容や支援の方向性を担任の先生と話し合っている。</li> <li>・担任が子どもに対する思いや願い、実現可能な支援について確認して支援を提案するように意識している。</li> </ul>	
11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・常の共有できる体制が取れている。</li> <li>・計画に沿った支援を心がけている。</li> <li>・全職員に共有されている。またいつでも確認できるツールを使用している。</li> </ul>	
12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の様式に基づき独自のアセスメントシートを活用している。</li> <li>・行動観察を行い確認している。</li> </ul>	
13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインに基づき具体的に設定し支援している。</li> <li>・具体的な内容を心がけている。</li> </ul>	
14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問職員だけでなく全職員で共有し支援にあたっている。</li> <li>・強度行動障害などにも留意し計画作成を行ない支援に活用している。</li> </ul>	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業前にかかわらずいつでも情報共有が行えるツールを使用している。</li> <li>・訪問支援前に職員間で打ち合わせは行っていないが、訪問前には必ず前回の記録を読むようにしている。</li> <li>・気をつける点等確認している。</li> <li>・すべての職員が記録や情報を有効的に共有し支援につなげている。</li> </ul>	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日必要な情報共有を行ない全職員が意見を出し合えるツールを使用している。</li> <li>・訪問支援後に打ち合わせは行っていないが、学校での様子を職員間で報告している。</li> <li>・共有して次の支援に活かせるよう心がけている。</li> <li>・すべての職員が記録や情報を有効的に共有し振り返りが行えるツールを使用している。</li> </ul>	

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先の意向を必ず聞き可能な限り尊重している。</li> <li>・相手方に合わせた訪問の仕方を行なうなど配慮している。</li> <li>・訪問先の支援方法を尊重しながら支援につなげている。</li> </ul>	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ず記録を取り日々の支援にも活かしている。</li> <li>・強度行動障害児童には別に記録を作成している。</li> <li>・保護者へ公開する記録を打つだけでなく、支援計画が達成されているかも評価した記録も残している。</li> </ul>	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回以上見直しの機会を設けている。</li> <li>・3ヶ月に1度見直している。</li> <li>・6ヶ月に1回以上のモニタリングを行ない見直しが出来ている。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援管理責任者または施設長が参加している。</li> <li>・直接の担当者が参加している。</li> </ul>	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問先の受け入れが良く連携しやすくなっている。</li> <li>・連携して統一した支援を心がけている。</li> <li>・既存の連絡会議に参加したり個々の機関との連絡を取ることに努めている。</li> </ul>	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議や訪問毎に情報共有を行ない以降の際にも理解を深めている。</li> <li>・情報共有をして相互理解を図っている。</li> <li>・就学時以降では保育園からの修学支援シートなども参考に情報共有に努めている。</li> </ul>	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他事業所にも意見を聞きながら支援している。</li> <li>・保育所等訪問支援に特化した研修の機会はないが日頃から支援に関わる者が他研修には積極的に参加している。</li> <li>・必要時には医師や役所等にも助言やアドバイスを求めている。</li> </ul>	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて参加する体制は整えている。</li> </ul>	・機会があれば参加したい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々行っている。</li> <li>・関係機関と連携し情報共有できている。</li> <li>・日々記録を取り、保護者に公開し、共通理解を図っている。</li> <li>・訪問後に変化やその後の状況について確認を行うことで継続的な支援と質の向上を目指している。</li> <li>・保護者からのフィードバックを支援に活かせるよう努めている。</li> </ul>	

	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	・市町村や関係機関から研修のお知らせがあれば広く機会を提供できるよう体制は整えている。	・保育所等訪問支援に特化しては行えていない。 ・今後取り入れていきたい。
保 護 者 等 へ の 説 明 等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・契約時に行なっている。 ・契約時に実施している。また利用途中での問い合わせにも対応できる体制を整えている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	6		・行なうように努めているが、理解を得ることの難しい場所もある。 ・事前に説明を行っている。 ・訪問先に気持ちよく受け入れてもらえるよう周知活動を継続している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・日々のご意見も参考に計画作成に努めている。 ・訪問していることが児童にわからないような対応をしたりと各自の意思を尊重した形で訪問できるよう調整している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	6		・得られている。 ・同意を得ながら支援している。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・随時相談できる体制が取れている。 ・電話、連絡ツール、家庭訪問など様々な形で対応できるような体制を取っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	4	・現状では保護者会や訪問支援に特化し集まる機会は設けていないが、通所との併用利用のお子さんばかりなので通所の方では機会を設けている。	・今後取り入れていきたい。 ・父母の会はない。放課後等デイサービスや児童発達支援はイベントがあるが訪問支援に特化しては行えていない。 ・父母の会や保護者会など保護者同士がつながりを持てる会は開催できていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・随時相談できる体制が取れておりその都度迅速に対応できるよう努めている。 ・電話、連絡ツール、面談、家庭訪問など様々な形で対応できるような体制を取っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・事業所としては行なっている。訪問支援に特化しては行なっていない。 ・個人情報や訪問先の意向もあり保育所等訪問の内容についてはHPやお便りには載せていない。保護者だけがみれるツールで情報を発信している。 ・HUGシステムを利用し連絡体制は取れている。	・訪問支援に特化した通信発信は行なっていない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・日頃から重要性を意識するよう努めている。 ・個人情報の閲覧は全職員が責任を持ち取り扱いには注意をしている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・可能な限りしている。 ・意味理解がしやすいように、視覚支援や合理的配慮を行っている。 ・丁寧に話を聞くことを心がけ配慮し対応している。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問毎に出来ている。体制整備も行なっている。</li> <li>・相談には適切に応じるように心がけている。</li> <li>・電話、連絡ツール、訪問時など様々な形で対応できるような体制を取っている。</li> <li>・必要時には助言を行ない連携した支援に努めている。</li> </ul>	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議等を通し行なっている。</li> <li>・訪問後に毎回カンファレンスを開くのは難しいが担当者会を開いている。</li> <li>・必要時には電話や面談、書面など複数の手段で対応できる体制を取っている。</li> </ul>	・訪問実施後に担当の先生と情報を共有を行っているが、カンファレンスは行っていない。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関全てで共有している。</li> <li>・訪問した際に感じた課題や強み等を共有している。</li> <li>・HUGツールを利用し共有している。また必要時には個別連絡などの手段も用いている。</li> </ul>	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から重要性を意識するよう共通認識の下努めている。</li> <li>・個人情報の閲覧は全職員が責任を持ち取り扱いには注意をしている。</li> </ul>	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問毎に出来ている。体制整備も行なっている。</li> <li>・必要時には助言を行ない連携した支援に努めている。</li> <li>・訪問児童に対する訓練は行なっていないが、通所との併用利用のお子さんばかりなので通所の方では訓練を行い周知に努めている。</li> </ul>	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所支援と連携し行なっている。</li> <li>・保育所等訪問支援に特化したマニュアル作成はしていないが、事業所として作成している。</li> <li>・訓練の実施は通所支援で行っている。</li> </ul>	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全第一で支援を行うように心がけている。</li> <li>・訪問児童に対する訓練は行なっていないが、通所との併用利用のお子さんばかりなので通所の方では周知に努めている。</li> </ul>	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員で共有し検討している。</li> <li>・ヒヤリハットの事案があった際には、職員会で報告しともに、なないろの両施設間の職員で共有している。</li> <li>・事前に起こり得る危険等話し合っている。</li> <li>・全職員で必ず共有し再発防止に努めている。</li> </ul>	

対応	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月委員会を開催している。また必要な情報は関係機関と連携している。</li> <li>・虐待防止や身体拘束について職員会で毎回話し合っている。またどのようなことが身体拘束に当たるのかを職員全員が把握している。</li> <li>・外部、内部研修に参加し毎月委員会の開催もしている。</li> </ul>	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月委員会を開催している。また必要な情報は関係機関と連携している。</li> <li>・やむを得ず身体拘束を行う可能性のあるお子さんには事前に保護者の方へ説明を行い同意を得ている。</li> <li>・外部、内部研修に参加し毎月委員会の開催もしている。</li> </ul>	